鉄道コレクション対応 点灯化キット 京王5000系対応

KO-5000_ml ライトユニット 説明書

ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車種に対応します。
・京王5000系とその譲渡車
（なお本キットは、2014年7月以降に発売されたヘッドライト・尾灯・通過標識灯のレンズがすべて透明パーツとなっている製品にのみ対応します。）
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。（チラツキ対策を施しています。）

⚠ ご注意
・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
・車両は必ず直流（DC）12V以下で運転してください。交流（AC）は絶対に使用しないでください。
・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】

・ライトユニット	:	1個/セット
・ライトボックス用リブ	:	2枚/セット
・ライトユニット遮光板	:	1枚/セット
・通過標識灯ユニット	:	1個/セット

【その他】

・説明書（本紙）	:	1枚
・導電性アルミテープ（15mm × 約120mm）	:	3枚/箱

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

・カッティングマット	・カッターナイフ（デザインナイフが望ましい）	・直定規
・ピンセット	・楊枝，綿棒など	・塗装面を保護する柔らかい布
・ニッパ	~~・ピンバイス（0.3mm, 0.5mm, 0.8mm, 1.0mm）~~	~~・ポンチ（プッシュピンなどでも可）~~
~~・プラスドライバー~~	~~・精密ヤスリ（平、丸、半丸など）~~	~~・サンドペーパー~~
・両面テープ	・ゴム系接着剤	~~・マスキングテープ~~
~~・木工ボンド~~	・プラモデル用接着剤	~~・瞬間接着剤~~
・ポリエステルテープ（ニチバン「マイラップ」，セメダイン「ラピー」など）		・遮光用の塗料（黒または銀）

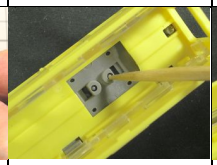
●取り付け手順

1. 分解する

1-1 床板を外す

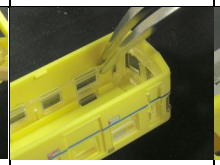
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。

1-2 パンタグラフを外す



パンタグラフは、内側から押して外します。

1-3 側窓を外す



側窓を外します。

1-4 前面透明パーツを外す

まず通過標識灯を外します。
レンズを外側から楊枝などで押して外します。
通過標識灯レンズは使用しないので保管します。

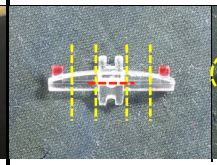
次いで前面窓を外します。
貫通路の柱部分に、精密ドライバーなどを差し込み、内側に少し引き出し、パノラミック部分が外に出るように横にずらして外します。

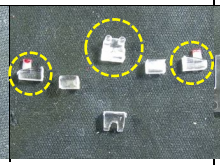
2. 車体を加工する

（1-4つづき）

最後にヘッド・テールライトレンズを外します。
レンズを外側から楊枝などで押して外します。内側からコジって外そうとするとレンズを破損しますので、必ず外側から押し込みます。

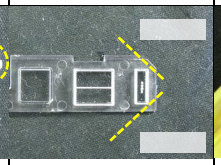
2-1 ライトレンズを加工する





ライトレンズを写真のように6分割します。
使用するのは、レンズがついている3つです。

2-2 側窓を加工する



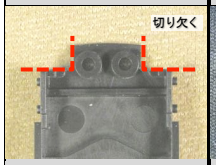
側窓前端を、乗務員扉の窓の下前の角に接する45度の線でカットします。
また上側も、同様にカットします。
（上のポゾ状の部分はカット不要）

2-3 ボディを加工する

ボディ内側中央の盛上り部分にある穴あけガイドを削り取ります。
なお、アンテナ等を取付ける場合は、この段階で作業を済ませておきます。

3a. 床板を加工する

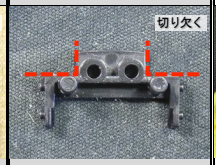
（トレーラー車の場合）



床板前端の両サイドを切り欠きます。
枕木方向はダミーカプラーの取付け穴まで、線路方向はTNカプラーの台座の手前まで切り欠きます。

3b. 動力ユニットの加工

（動力ユニットを組み込む場合）

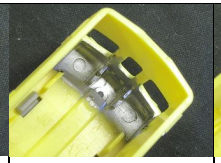


動力ユニットのスペーサーの両サイドを切り欠きます。
枕木方向はダミーカプラーの取付け穴まで、線路方向はTNカプラーの台座の手前まで切り欠きます。

4. ライトユニットを取り付ける

4-1 ライトボックスを作る

貫通扉の柱部分を目安に、ライトボックス用リブを、プラモデル用接着剤を使用して接着します。（流し込みタイプを適量使用することを推奨します。）



天井及び壁面の上部を黒又は銀で塗装して遮光します。数度塗り重ねて、しっかりと遮光します。
壁面は、1つ目の客室窓部まで広めに塗装します。また、レンズ部は穴の内側も塗装します。

両側のテールライト部の天井に、5mm × 5mmの平行四辺形のポリエステルテープを貼ります。

※3a，3b の作業は、通過標識灯なしのキットの場合は行なう必要はありません。

（4-1つづき）

中央のヘッドライト部の天井に、4.5mm×10mmのポリエステルテープを貼ります。
前端は貫通路の窓の直上から、後端は、1-3で削り取った穴あけガイド部まで貼ります。

ヘッドライトの穴を楊枝などを使って開け、押し広げます。

4-2 ライトレンズをはめる

ライトレンズをはめます。
両面テープ片を使って固定します。
ヘッドライトのレンズは、両側のリブより低くなるように、必要に応じて削ります。

4-3 ライトユニットの設置

両面テープを使って、ライトユニットを設置します。ライトユニットの前端が、ヘッドライトレンズにあたるように配置します。
この段階で仮に点灯してみて、遮光の状況を確認します。不具合がある場合は4-1からの作業を点検します。

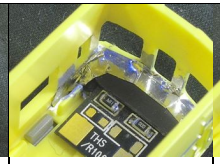
4-4 ライトユニット下側の遮光

ライトレンズ上に遮光板を貼ります。各ライトレンズ、ライトユニットに両面テープ片を貼り固定します。

（4-4つづき）

遮光板と貫通路窓の間に、3mm×6mmのポリエステルテープを貼ります。
ボディ側は窓部の断面に貼ります。
貫通路柱の部分は、ポリエステルテープに切れ目を入れ、形状に馴染ませます。

遮光板と運転席・助士席窓の間に、3mm×6mmのポリエステルテープを貼ります。
ボディ側は窓部の断面に貼ります。



遮光板と側面の間に、3mm×6mmのポリエステルテープを貼ります。

遮光板と天井の間に、3mm×6mmのポリエステルテープを貼ります。

4-5 前面窓ガラスをはめる

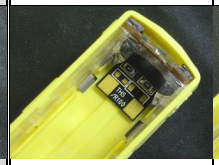
前面窓ガラスをはめます。

5. 配線する

4-6 通過標識灯ユニットの取付

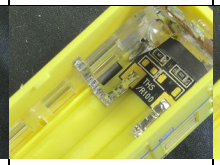
通過標識灯ユニットをはめます。緩い場合は、両面テープで固定します。

5-1 側窓をはめる



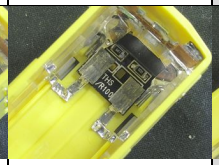
側窓をはめます。
緩い場合は、両面テープ片を使って固定します。

5-2 ヘッドライトへ配線する



1.5mm×約30mmのアルミテープを使って、ヘッドライトの給電パッドから側窓下まで、L字形に配線します。屈曲部は、欄外の記事を参考に折り曲げます。
余ったテープは切り捨てます。
※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。

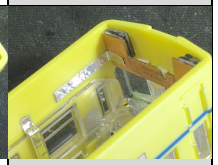
5-3 給電パッドの重ね貼り



ヘッドライト給電パッドの通電の確実を期して、3mm×3mmのアルミテープを重ね貼りします。

※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

5-4 通過標識灯へ配線する



1.5mm×12mmのアルミテープで、側窓下部から通過標識灯の給電パッドまで配線します。

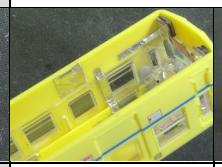
※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。

※4-6，5-4・5の作業は、通過標識灯なしのキットの場合は行なう必要はありません。

5-5 給電パッドの重ね貼り

通過標識灯の給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm×5.5mmのアルミテープを重ね貼りします。
※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

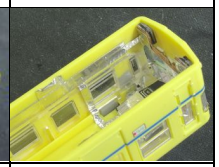
5-6 側窓下の凸部にアルミテープを貼る



床板との嵌合部の凸部に、5mm×5mmのアルミテープを貼ります。テープの先端が車体裾に接するように貼ります。

車体の四隅の嵌合部に貼ります。

5-7 側窓下をアルミテープで結ぶ

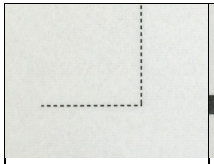


室内灯も取付ける場合は、この作業は室内灯の取付後に行ないます。

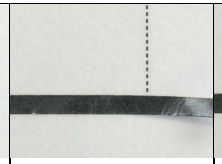
（5-7つづき）

3mm×105mmのアルミテープを使って、側窓下端に沿って、ライトユニットへの配線、前の嵌合部、後の嵌合部、室内灯の配線の4ヶ所を、一気に接続するように貼ります。
※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

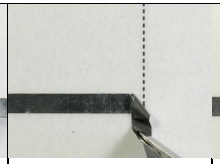
●テープを折り曲げながら貼る



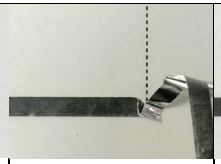
L字形にテープを貼ります。



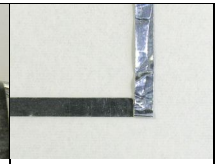
一辺を貼ります。



曲がり角で、一旦反対側に曲げます。



向かいたい方向に、再度曲げます。

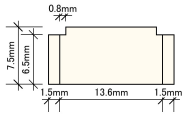


よく押さえて完成です。

●乗務員室仕切りを取付ける（室内灯を取り付ける場合にお好みで）

0. パーツを作る

乗務員室仕切り 型紙

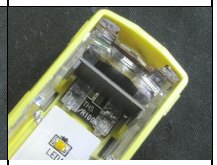


0.5mmのプラ板でパーツを作ります。（遮光に適した黒いプラ板を分売しています）

1 桟を取り付ける

乗務員室仕切りの桟を、乗務員室扉後部の壁の後端に、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、後側の切口までL字形に貼っておきます。

2 仕切りを取り付ける



乗務員室仕切りを、桟の後側に設置します。

KO-5000_ml 説明書 2.00
2015/05/01 1.00 初版
2017/08/25 2.00 製品フォーマット改定に伴う新版

補修用にアルミテープ等を分売しています。
ism-works.shop-pro.jp をご覧ください。

《お問い合わせ先》
イズムワークス・直売所
〒249-0002 神奈川県逗子市山の根1-5-15，店舗営業はしていません。
phone：0468-27-7261，10:00～18:00 土日祝休業，e-mail：shop@ism-works.shop-pro.jp.

ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp